

3-1-4 河川工事により設置される河川管理施設の機能の概要

(1) 河道

- ・河道は、各区間の計画高水流量を安全に流下させることとします。
- ・河岸は、土羽構造を基本とし、護岸を必要とする場合も極力多孔質な材料を用いて、現況の良好な又は南白亀川本来の植生の復元を図り、緑豊かな潤いある水辺環境の整備に努めます。
特に、かんがい期における堰の湛水の影響区間については、堰開放時の急激な水位変動にも対応可能な法面構造とします。
また、低水路は、自然の流れによって現況のみお筋形状が復元するようにします。
- ・南白亀川の下流部では、散策や釣りの他、イベントとしてイカダ上り競争が行われていることから、堤防天端の舗装や散策路としての利用の増進等、地域のニーズに対応する親水空間の創出を図ります。

(2) 洪水調節池

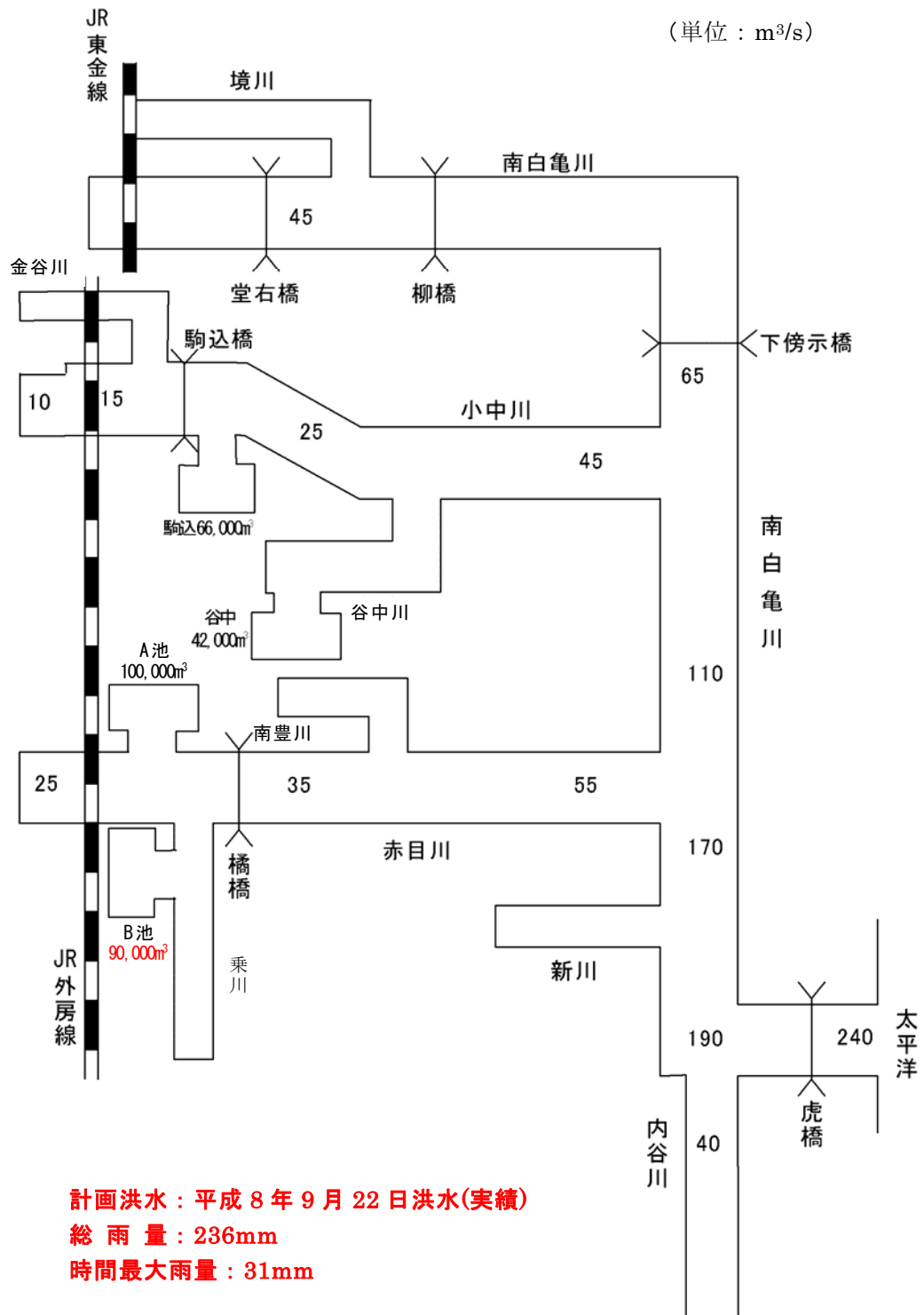
- ・赤目川上流域から流下する洪水の一部を貯留して、周辺市街地の浸水を軽減するとともに、下流の洪水位を低下させます。平常時は、農地整備が実施される前の昔の風景に近い湿地環境の創出を図りますが、地元等から利用計画の提案が示されたときは調整を行い、具体的な計画を立案していきます。

(3) 河川工作物等

- ・河道改修に当たって堰や揚水機等の構造物を改築する場合は、水利用者と協議調整を行い、水利用に支障のない構造とします。
- ・河川工事に伴って、堰・揚水機等の利水施設や橋梁などの工作物の工事を実施する場合は、各管理者と協議・調整を行い、合理的な統廃合を行うとともに、利用に支障のない施設配置とします。

(4) 計画高水流量配分

計画高水流量配分は、以下の通りです。



南白亀川河川整備計画の計画高水流量配分図